

【はじめに】

皆さま、こんにちは。城北支部広報部です。この秋、城北支部内では各所でさまざまな案件が動き出しているようです。「JOHOKU SHINDAN 誌」第2号では、そんな支部内の旬な話題を“HOT NEWS”と題して、ご紹介します。

【HOT NEWS ～案件に盛り上がるチーム（団体）～】

NPO 法人東京都北区中小企業経営診断協会（北経協） ～新しい商店街の形を見つけるための商圈調査～

○北区浮間地区商圈調査

この調査は、商店街再生の戦略を練るための外部環境調査として、従来は大学に委託していた調査を商店街再生の実務に携わる機会が多い中小企業診断士に依頼されたものです。本案件は「NPO 法人東京都北区中小企業経営診断協会（北経協）」が北区区役所より委託を受け、北経協会員である朝倉・木野・片桐・山内各先生が事務局となり推進しているものですが、4商店街を含む浮間地区の商圈調査とエリアも広いことから、更に多くの協力メンバーを募り、活動にあたっています。10月14日、このプロジェクトメンバー12名が揃い、初回ミーティングが開催されました。

メンバーの中は、古き良き浮間を知る浮間出身の先生、商店街と似通った性質をもつ百貨店勤務の先生、商店街支援がはじめての先生など、専門分野・診断士歴もさまざま、それぞれの視点を活かして商店街の置かれている外部環境を調査していきます。具体的な調査内容は、浮間地区4商店会向けの通行量調査・来街者ヒアリングの他、浮間地区全体の住民に対するアンケート調査や人口動態調査などの2次データの収集も行っていく予定となっています。この日は、調査実施の日程を合わせるためのスケジュール出しを行いました。個々の仕事や活動の状況に合わせて日程を決めていくようです。

この調査の魅力は“浮間”という地域の雰囲気。9月から北経協の事務局メンバーが浮間庚申通り商店会の調査を行いました。調査を行ったメンバーによると「浮間は下町の雰囲気があって、アンケートに足を止めて協力してもらえる」とのことで、2日間で90枚のアンケートを回収できたそうです。また、浮間地区には、製薬会社の工場や大型公営住宅がある一方で、工場の移転も進んでいます。跡地に住宅開発や大型スーパー・ホームセンターの開業が進む等の新たな動きもあります。浮間には4つの商店会がありそれぞれに個性豊かな地域で、位置する場所や来街者の特性によって、それぞれ違ったニーズがありそうです。今後、参加した協力メンバーには、調査だけでなく、集計・分析の作業に触れる機会もあるようで、商店街支援に携わる貴重な機会となっているようです。



初回全体ミーティング



メンバーの予定を調整

【「北経協」高橋文平 代表理事より】

「北経協」の活動の主役は、「お困りの事業者様」です。中小企業診断士としては、重責を担う主役のことを思い、主役の身になって、その職責の完遂にベストを尽くして協力する心構えが肝要です。

いわば参謀役のスタッフとしての仕事でもあります。このため、参謀役のスタッフとしての能力をあらゆる機会をとらえ、磨き上げることが大切です。そして磨かれた能力を持つ仲間づくりにより、主役である事業者様のお役に立つ活動をしていきます。「北経協」はその活動の場（環境）づくりをしていきます。

【参謀役のスタッフの心構え】

ものの考え方や判断、事の運び方や処置については、周到綿密であることが必要である。秘密の保全、特に事業内容・経営数値・人事に関することは慎重でなければならない。主役は多忙であり、重責を担っている。極力これより解放し、重要任務に専念できるよう主役に対する配慮が望ましい。軽易な事項は主役の意図を承けてテキパキ自ら処理すること。説明や資料は分かり易い方法で講ずること。事前報告、中間報告を行い主体に考える余裕を作り上げること。（重要なことは不意に 決済を求めないこと）

●特定非営利法人東京都北区中小企業経営診断協会（経済産業省認定「経営革新等支援機関」）

・定例会：毎月第3 木曜日 北とびあ（王子駅より徒歩2分）にて

・活動内容：講師を招いての研修会。実務案件報告など

その他、事業者様への経営支援活動、北区を歩く会、新年会ほか会員希望者向けイベントを各種実施しています

・11月は13日（木）19:00~21:00（受付:18:45~）*本日は。以降の予定は、随時メールリングリストでご案内致します。

・連絡先：03-5939-6480 メールアドレス contact@kita-keikyo.org

・ひとこと：活動方針としては、「コミュニケーション」に重点を置き、研修会、研究発表（ワークショップ）、地域情報採取、地域事業者様への支援活動を通じ、会員間の情報交換の機会を作り、相互の能力向上を図り、事業者様へのお役立ち支援を行うことです。

【支部活動潜入レポート】秋大会（10月18日 TKP市ヶ谷カンファレンスセンターにて）

10月18日、TKP市ヶ谷カンファレンスセンターにて、東京協会の秋大会が開催されました。第3部は、支部説明会。新入会員の先生方が城北支部の説明を聞きに来てくださいました。朝倉支部長の城北支部の概要説明にはじまり、各研究会・各区会の活動内容の説明。各先生、熱の入った説明をされていますが、皆さんのPRの中に、1つの共通点が、それは、「実践」です。支部長の説明の「城北では、各区会と役所との連携が強く、行政の仕事が多い」というものにはじまり、各研究会からの「実践の場を創る。地元の中企業の社長も参加する」、「座学ではなく実践」、各区診断士会からの「金融機関と連携、区との契約でビジネスチャンス」「去年は製造業、今年は商業の調査を実施中」、城北プロコン塾「支部として仕事をとってきた時に、こなせる先生を育てる」など、各会で実践の場づくりを意識していることがうかがえました。また、木村総務部長からは、「協会の年会費5万、20年で100万。何にもしないとドブに捨てるようなものだし、年数が経つと顔を出しにくくなる。支部は1つだけど、研究会・区会は1つじゃなくていいわけで、何か興味があればスポット参加でいいから顔を出してみてください」とのススメ。まずは、顔を出してみれば、何らかの機会がある支部であることがうかがえました。



支部長挨拶



各会からの熱心なプレゼン



質疑に答えるプロコン塾生

鍛冶田 良 先生 【連絡先】 kajiryu@gd5.sonet.ne.jp

【職歴・得意分野】

建材メーカーにて企画から製造までの一連のものづくりを経験、その経験をもとに生産現場の生産性向上、現場力向上を支援。現在では、事業再生分野での案件が多く、現場に入り込んだ PL 改善の具体的な支援を行っている。

【支部活動】 特になし。(去年まで広報部員)

鍛冶田先生は、建材メーカーを経て、製造現場の経験を元に現場力向上の専門のコンサルタントとして活動しています。今回、鍛冶田先生のコンサルノウハウを診断先でよく言われている内容とともに分析します。

①「漫才をしているようなやりとりだね」

特に意識しているのは、単語の羅列で話すのではなく、ストーリーとして組み立てて話をするようにすることだそうです。内容がキツ過ぎ、抵抗がある時は、遠回しに。また、「顔がコンサルっぽくない」とも、言われるそうです。顔&ストーリー、この2つの相乗効果で漫才のようなコンサルになっているのかもしれませんが。果たして鍛冶田先生は、ボケなのか？ツッコミなのか？今度お会いした時に皆さんの感想を伝えてあげてください。

⇒結果として、漫才のように議論しているうちに、コンサル先の改善が進んでいくそうです。

②「オーラのない、コンサルタント」

まずは、行動面。コンサル先では、まずラジオ体操から参加。また、休み時間喫煙所で従業員の皆さんと一緒に缶コーヒーを飲む。あたり前ですが、上から目線でものを言わないように気をつけるそうです。

次に、外見。見た目は大きいというかデブとのこと。その上、若いころから「ニコニコし過ぎ」と言われるほどの笑顔を意識。更に、高そうなモノを身に着けないように気をつける。

まとめると、「大きい体」「普通の外見」「笑顔」の人が、ラジオ体操の後、喫煙所で缶コーヒーを飲んでいる。

⇒この結果、従業員に溶け込むコンサルタントと言われているそうです

③「冗談をいいながら、厳しいことを言うね」

コンサル先との話し合いでは、あえて厳しいことを言わないといけないシーンも多いです。そんな時は、チェンジアップの後、ストレートという感じで、緩急をつけているそうです。また、厳しいことをいう時は、あまり感情をこめず、ロジカルに、怒るというよりは、冷たくというイメージで話をするそうです。

⇒結果、ニコニコしながら危険球を投げるともいわれます。(厳しいことを言っても、嫌われない)

★鍛冶田先生はこんな感じでコンサルしています。⇒イメージ



現場ではラジオ体操



こんな笑顔で鋭い指摘



高価なものは身に着けない！

城北プロコン2期生、林秀樹と申します。簡単ではございますが、自己紹介させていただきます。

■プロフィール■ 現在、千代田区で司法書士事務所を営んでおり、司法書士歴は14年になります。業務内容は大別して、1. 売買、贈与、相続等に関する不動産登記、2. 役員変更、増減資、組織変更等の商業登記、3. 成年後見の申立、就任等の手続き、となっております。

■ 専門分野 ■ 不動産登記、商業登記を組み合わせた、スキーム案件実行を得意としています。他専門士業とのすり合わせをしながら進めていく必要があるため、神経を使う作業ですが、終わった際の、安ど感と達成感にやりがいを感じています。

■ 趣味 ■ 飽きっぽい私ですが、かれこれ25年以上、カヌーだけは続けています。学生の時は、競技者としてのめり込んでいましたが、今は年に1、2回程度、趣味として楽しんで乗っています。よく、『ボートとカヌー、何が違うの?』と聞かれることがあります。→ (答え) 進む方向が違います。ボートは後方に向かって進みますが、カヌーは前方向に進みます。その他、『カヌーとカヤックはどう違うの?』という質問も受けることがあります。こちらは、また別機会に!



■ 近況&夢 ■ 新たな取組テーマとして、種類株式を活用した事業承継、創業支援等に携っていきたいと考えております。今まで未着手テーマなため、色々な方と連携させていただきながら研鑽に努めて参りたく考えております (因みに、前者をプロコン塾取組レポートにしました)。まずは、プロコン塾を無事卒業することに注力です。城北支部の皆さま、今後ともご指導ご鞭撻のほど、宜しく願いいたします。

【あとがき】 懇親会はいくらかかるの? PART 1

とある先生との会話。「最近、懇親会ビンボーなんですよ。」「あ、それ僕もです。今日はやめとこうと思うんだけど、その場になると行ってしまおうんだよねえ。」さて、城北支部内で行われている懇親会は、どんな所でいくらかかるのか?

①「企業経営研究会」(開催場所:練馬)

○「加賀屋」コースはなく、単品で(飲みあり) 2000円~3000円

・テレビがあるので、相撲等が気になる時は便利

②「城北プロコン塾」(開催場所:大塚)

○「土間土間」飲み放題&料理を事務局が調整して 1人2000円程度

・飲み放題に生ビールもある。料理は値段の割には食べた感を感じる

③「情報診断研究会」(開催場所:中央区京橋)

○桂園(けいえん)お疲れ様セット(¥1,300くらい)+飲み物(ビールから焼酎)で ¥2,500~3,000位

セットは3品で、味は十分満足。最初はビールで乾杯、その後、ビール派:焼酎派が3:7くらい。

10人位の人数で、入れないことはなく、人数分のテーブルを作ってくれる。

○みなと水産(九段靖国通り店) *開催場所:千代田区立図書館の時

料理(枝豆~お刺身~焼鶏)・・・+飲み物(ビールから焼酎) → ¥2,000~2,500

とにかく安い。会費を気にせず、肴・飲み物、いただける。お座敷とロの字型カウンター。2回に1回はお座敷満杯でカウンターの一部を陣取る変則的な体制も、話が始まったら関係なし。

④実践経営勉強会（開催場所：秋葉原）

○「浜町亭」（秋葉原中小企業振興公社の2階） 予算：1500円から2000円（ビールが安い。）

元城南支部長で、外食産業業界に造詣の深い足立秀夫先生のメニュー選択指導のもと、支払いが2000円を超えることは絶対にありません。「足立統制経済」と敬意をこめて呼ばれている

今回、紙面作成にご協力頂いた皆様

石川千穂先生 鍛冶田良先生 加藤毅先生 北雅規先生 栗原啓悟先生 高橋文平先生 林秀樹先生 藤井無限先生
村上章先生 山倉一記先生（アイウエオ順）

突然の取材・お願いにご協力いただきまして、ありがとうございました。（広報部長：八巻）

【本誌に関する皆さまのご意見、ご要望をお待ちしております】

①皆さまがお持ちの“ネタ”を提供してください

- ・研究会・区会の活動を紹介したい、または、ご自身のセミナーを紹介したい。⇒広報部員が潜入します
- ・ご自身の特技を紹介したい。支部内の方と交流したい。⇒「今月の城北人」のコーナーで紹介します
- ・診断士としてのノウハウを紹介したいなど ⇒特集記事化します。

②皆さまが知りたいことを教えてください

- ・企業内診断士の活動状況が知りたい。
 - ・独立するには、どうしたらいいかを知りたい。
- ⇒各種 特集を組んで記事を作成します。

③読者としての（批判も含め）感想をお聞かせください

- ・批判的な内容もお願いします。今後の改善に活用させていただきます。

④本誌編集スタッフ募集中

- ・「隙間時間にちょっと」「アイデアを出すだけ」でも構いません。

問い合わせ先 城北支部広報部：jhoku.kouhou@gmail.comまで よろしくお願ひ致します。

JOHOKU SHINDAN 誌 ～第2号 城北支部HOT NEWS～

2014年11月13日発行

発行者：城北支部長 朝倉久男

編集者：城北支部 広報部